

光熱費が0円新築分譲マンション

ラ・アトレ

新築不動産販売から不動産管理まで、多様な不動産事業を展開するラ・アトレ（脇田栄一社長）は、昨年12月下旬、長野県初となる、太陽光発電システムを採用した光熱費負担実質「0円」の新築分譲マンション『ラ・アトレレジデンス蟻ヶ崎台』を竣工した。

新築マンション購入の動機で一般的なのは、利便性の高い立地、最新の設備やセキュリティの充実などだが、東日本大震災以後は災害時の備えや節電として再生エネルギーが注目され、発電や蓄電ができる太陽光発電システムの有無が家選

びの重要な要素となってきたと同社では分析する。

『ラ・アトレレジデンス蟻ヶ崎台』は屋上に太陽光発電パネルを敷設、昼間に発電した余剰電力は電力会社に売却。夜間の消費電力分の収入を得ることで、実質的に光熱費負担を「0円」にできる仕組み。災害等により停電した場合でも、自家発電によってエネルギー供給が可能なマンションだという。集合住宅でネットゼロエネルギーを実現するには、全住戸の電気を賄う大量の太陽光パネル設置が可能なスペースがあること、太陽光が遮断されない高台にあることが必要。『ラ・アトレレジデンス蟻ヶ崎台』は、約11,320㎡のゆったりとした敷地に、第一種低層住居専用地域という特性を生かした三階建てで、周囲に遮る物も少なく採光に恵まれている。屋上には太陽光発電パネルを1,805㎡敷設した。同地域は



ラ・アトレレジデンス蟻ヶ崎台

日本でも晴天率が高く、ネットゼロエネルギーを実現しやすい立地だとしている。脇田栄一社長は「地方都市にて前例のないものにチャレンジしたい。上質で魅力的な物件を創造したい」「環境を考えた時に、次世代のエネルギーを再生できるマンションを提供したい」と開発の想いを熱く語った。今後も「再生」をテ

ーマに、人々の暮らしに貢献できる魅力ある物件を開発していきたいと意気込む。

ラ・アトレ

東京都港区海岸1-9-18

国際浜松町ビル5階

http://www.lattrait.co.jp



屋上に設置された太陽光パネル